

母を亡くした後の鬱と
人間関係の問題を抱えていた
双極的体質へ水のレメディィーで
対処したケース

森本道子

- 日本ホメオパシーセンター 神奈川麻生白鳥
- JPHMA 認定 NO. 1096
- ZENメソッド習得認定 NO. 532
- 心理カウンセラー／プロセスワーク
プラクティショナー（APWオフィス代表）

60代、女性

主訴：

- 1 顎骨壊死の術後左下唇周辺にまひ・しびれ
- 2 微熱（2年間）
- 3 骨粗鬆症
- 4 冷え（30代から）
- 5 低体重

他の症状：

鬱的症状、頻尿、夜間覚醒、元々シャイで怖がりで人の反応は気になる。HSP（敏感）体質

家族の病歴

母：脳梗塞、動脈硬化、膀胱がん

父：胃炎、胃潰瘍、糖尿病から腎臓病発症、心筋梗塞

母母：脳溢血？ 母父：突然死（50代前半）

父母：胃がん（59才） 父父：突然死（50才）

弟、妹共大きな病気はなし

腹が立つこと

些細なことでも自分が大事に扱われてないと感じると腹が立つ。

外国人が人扱いされてないようなこともかなり腹が立つ。

タイムライン

- 3000g未満、早産
- 1才 結核菌保有（予防接種に反応）
- 2才まで 家の一部を間貸ししていたため親戚、父の会社の人などコミュニティに育てられた。
- 大学4年の秋 **鬱っぽくなる。**
- 23才 学童保育の仕事を紹介され、子供たちと良い関わりが出来ていたが教育や政治的なことを考え過ぎてしまい毎日遅刻を繰り返し、自ら退職。
 - 再び地元の保育所の仕事に就き、自閉症の子と関わり「全ての子供を普通学校へ」という運動に感化され、その子供に関する重要な報告書を周囲の了承なしに提出。後に批判をうけ、自ら退職。

タイムライン（28才～現在まで）

- 30才 あるコミュニティに移住。その後地元民によるコミュニティ追放運動が起こる。
- 38才 コミュニティを離れて暮らしていた自分に対してコミュニティのメンバーが排斥行為をしていたことにショックを受け、食事が喉を通らなくなり体重も激減。胃炎発症。
- 40才 **鬱状態**。その地域からでることを決意し鬱が抜ける。
- 46才 骨粗鬆症 49才～プラリア、ボナロン（顎骨壊死のリスクは高い）という注射治療を受ける。
- 61才 母が膀胱がんになり、闘病生活になる。
- 64才 母死去
- 66-67才 顎骨壊死、手術済
- （幼少期から人生で7回の引っ越しを経験）

1 : 1222# 3. 全般 - 3. 全般 - 3. 骨(および骨膜)全般 - 骨の壊疽(壊死) :

2 : 222# 1. 部位 - 1. 頭部 - 12. 歯および歯肉 - 歯肉 : - 下の :

3 : 1970# 4. 基調 - 1. 基調 - 5. 状態および状況から - 損傷(外傷:落下・転倒、殴打・強打、など) - 全般 :

4 : 964# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - るいそう(体重減少、萎縮症、など) :

5 : 1898# 4. 基調 - 1. 基調 - 5. 状態および状況から - 食べる、前(胃が空っぽのとき、断食) : - 間(および食べることから) :

6 : 303# 2. 系統 - 1. 栄養(消化) - 1. 内臓(臓器) - 胃(およびその部位) :

7 : 1767# 4. 基調 - 1. 基調 - 3. 精神 - 苛立たしさ(かき乱される、気分を害する・困惑する、悩まされる)から : - 悲嘆を伴う無言の失意 :

8 : 789# 3. 全般 - 1. 精神 (および気質) - 1. 精神 - 絶望(失望、落胆) :

9 : 1216# 3. 全般 - 3. 全般 - 3. 骨(および骨膜)全般 - 骨の堅さを失う(骨粗鬆症) :

①2022.12月 TBRソフト

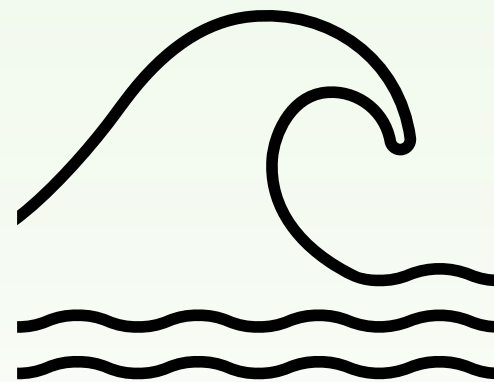
順位	レメディ-	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Phos.	9	22	3	1	3	3	3	4	1	1	3
2	Sulf.	8	21	1	2	3	4	1	4		3	3
3	Ph-ac.	8	14	1		1	3	1	1	3	1	3
4	Lyc.	7	22			1	4	3	3	4	3	4
5	Puls.	7	20			4	3	3	4	1	3	2
6	Staph.	7	18		3	3	2	2	2	3		3
7	Sil.	7	17	2		2	3	2	3		2	3
8	Merc.	7	16	2		1	3	2	2		2	4
9	Nat-c.	7	16		3	1	2	3	3	1	3	

<①処方>

- 随時 ϕ Shoka(消化) + Lith-m12x (鬱に合う) + Nat-c6c (消化の問題)
+ Konyag-w30c (白山の紺屋が池の水 骨の問題)
- 朝 Sil LM 1 (TBRNo7根本体質、骨の問題)
- 昼 Suga-oku-w 30c (須賀神社の水 障り、エネルギー不足に)
- 夜 Izumo-w 30c + Cycl LM3 (出雲大社の水 失って悲しんでいる人、絶望に)

<①結果>

- 胃の状態 ^{改善}
2月の内視鏡検査で、胃炎はない、きれいな状態と言われた。
- 左下くちびる周辺のマヒ ^{改善}
マヒ、こわばりは小さい範囲で残っている。
- 鬱状態 ^{改善} 双極的要素があると言われていて、波が上がっている時にがんばってしまう。
- 2月後半に処方されたリチウム（気分安定剤）も効いているとのこと。
- 初回の相談会の際は母を亡くした悲しみや落ち込みを語られていたが、二度目は母への不満も語れるようになる。



1 : 964# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - るいそう(体重減少、萎縮症、など) :

2 : 1216# 3. 全般 - 3. 全般 - 3. 骨(および骨膜)全般 - 骨の堅さを失う(骨粗鬆症) :

3 : 1158# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 弱さ(無力症、無気力、衰弱) : - だるさ(倦怠感、疲労や飽き、退屈を感じること) :

4 : 238# 1. 部位 - 2. 胸 - 3. 腹部 - 外腹部 - 心窩部 (みぞおち) :

5 : 1067# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 硬直(凝り、凝り固まり、固定[ギブスをしたように]) :

6 : 1900# 4. 基調 - 1. 基調 - 5. 状態および状況から - 食べる、前(胃が空っぽのとき、断食) : - 後 :

7 : 795# 3. 全般 - 1. 精神 (および気質) - 1. 精神 - 不信(疑念、自信喪失、臆病) :

8 : 687# 2. 系統 - 6. 体温調節 - 2. 冷たさ - 単一部分 :

9 : 660# 2. 系統 - 5. 心臓血管 - 3. 血液および血液循環 - 循環の低下(不十分)(蒼白を伴うなど) :

②2023.3.30

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Puls.	9	29	3	2	4	3	3	3	4	3	4
2	Lyc.	9	24	4	4	2	3	1	4	3	2	1
3	Calc.	8	21	3	3	3	3		4	1	3	1
4	Phos.	8	19	3	3	2	1		4	1	3	2
5	Bell.	8	19		1	2	3	3	1	3	3	3
6	Ruta.	8	12	2	2	2	1		1	1	1	2
7	Sulf.	7	21	4	3	2		1	4		4	3
8	Bry.	7	19	3		1	4	2	4		2	3

<②処方>

- 随時φ Bon (骨) + Lith-m12x (鬱の人に合う) + Adren-c-m-C12c (アドレナリンの出すぎを調整) + Kali-p12x (脳のリカバリー精神や慢性疲労に)
 - 朝 Ph-ac LM2 Phos(リン)がTBRNo4、敏感さと疲労困憊に
 - 昼1 **Hakkeng-w 30c 八剣宮の手水のレメディー** 自分は他者からひどい目に合わされて当然という意識が薄らぐ
 - 昼2 砂糖粒Bac30c + BCG-V30c 結核菌と結核ワクチンのレメディー 2週間後から一粒ずつ毎日
 - 夜 Puls LM4 TBRNo1
- + 御古菌を毎朝飲んでもらう。

<②結果>

- 鬱的症状 疲れると頭を使うことができなくなり、作業が停滞する。6月初めに再度受診。リチウム処方され、改善。
- 骨粗鬆症 日常生活上の支障はなし。
- 低体重変化なし

コロナワクチンを5回摂取していたことが判明（微熱と関係？）

<②結果 & 改善を阻むもの>

- 詳細にフィードバックを書けるほど元気になってきた印象。
- 『頻尿と夜間覚醒への恐れ』でサポートシンクチャー（水分）がほとんど摂れていなかった。



- 「御古菌が一番効果があった、その他はあまり効果を感じないので3回目の処方を最後に相談会をやめたい」との申し出。

1 : 800# 3. 全般 - 1. 精神 (および気質) - 2. 知力 - 活発、過剰な(知的活動過剰) :

2 : 1159# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 弱さ(無力症、無気力、衰弱) ; - 神経の(神経衰弱症) :

3 : 1747# 4. 基調 - 1. 基調 - 3. 精神 - 不安(恐れおよび恐怖も)から :

4 : 1900# 4. 基調 - 1. 基調 - 5. 状態および状況から - 食べる、前(胃が空っぽのとき、断食) ; - 後 :

5 : 2159# 4. 基調 - 1. 基調 - 5. 状態および状況から - 眠り - 後(目覚め時もしくは目覚め後):(+付随 覚醒) ; - 午睡 :

6 : 964# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - るいそう(体重減少、萎縮症、など) :

7 : 696# 2. 系統 - 6. 体温調節 - 3. 熱さ - 単一部分 ; - 内側の :

8 : 448# 2. 系統 - 2. 泌尿器 - 2. 排尿 - 頻繁な :

9 : 1012# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 炎症 - 粘膜の :

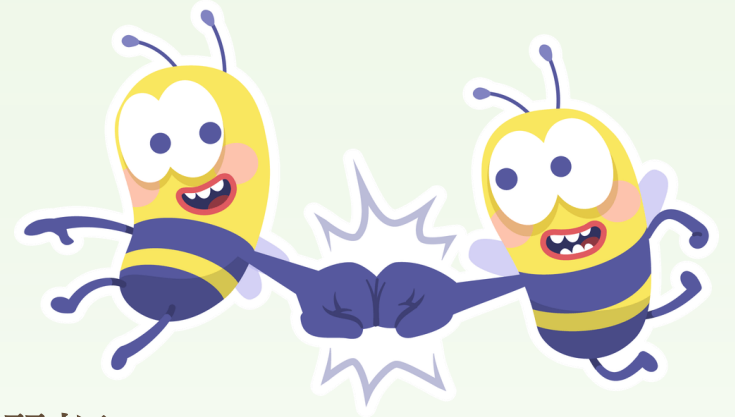
③2023.7.14

順位	レメディ	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Phos.	9	26	3	3	2	4	2	3	4	2	3
2	Sulf.	9	26	1	3	1	4	3	4	4	2	4
3	Lach.	9	19	4	1	2	2	1	3	1	3	2
4	Puls.	8	24		4	4	3	3	3	3	1	3
5	Bry.	8	22		1	2	4	2	3	4	3	3
6	Lyc.	8	20	1	2	2	4		4	3	2	2
7	Chin.	8	17	2	4		3	1	4	1	1	1

- <③処方>初めて鬱を主訴にされた。鬱の改善を目的にレメディーを選択。
- 随時ΦGap +zinc-m 神経の問題、頻尿に合う +Phos 敏感 HSP、TBRNo1
- 朝 Carb-v 炭 疲労、エネルギー不足の人に
- 昼 Toji-yaku-t 東寺 薬師如来 :すべての人は平等で差別や貧富の格差があってはならないという思いがある人に。
- Togak-c-w 戸隠神社の中社の手水 :魂に沈んでいる自分の過去世や先祖の不安、恐れを薄く・軽くして、魂の成長を促す働きがある。
- 夜 Carb-v+Sep 介入レメ+イカスミのレメディー:冷え、疲労困憊、ホルモンの問題、『消えてなくなりたい』人に

<考察からの選択>

- 二つの自己の葛藤一新発売のΦGapを選択。
- 過去世や深いカルマへの神社仏閣のレメディー選択。
- ①不平等に感じることに強く反応する
- ②思い込むと周囲の反対も聞かず強引な選択をするーそのためにトラブルや本人の傷つき（トラウマ化）を生む可能性も高まってしまう。
- よりピンポイントに症状と魂レベルへのレメディー（を寅子先生に見出して頂き）それらを選択できたことが好転に繋がったと思われる。



<③結果>

【処方数日後にAさんから連絡が入り、飲んでみて自分には全て合うような気がする、合ったものを選んでくれてありがとうございますと初めてお礼を言われました。

又頑張っって続けて量も増やして飲むようにするなどと言った前向きなメッセージを頂きました。】

- 実際の結果は……
- 9月半ば過ぎに鬱抜けしたとのこと。
- 9月始めから地元選挙のサポート活動



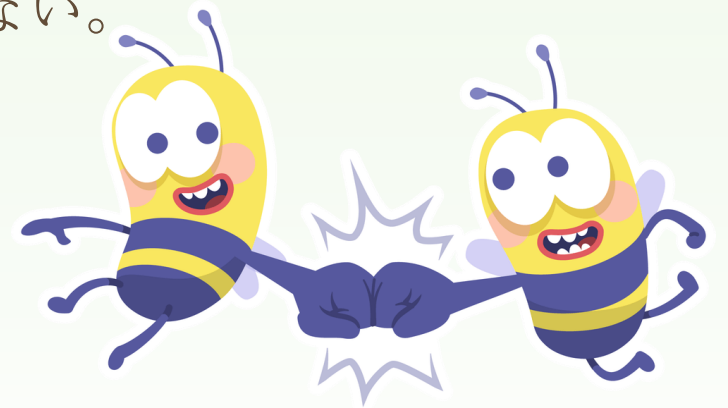
<二つの自己を統合するには>

①双極的性質の波を緩やかにすることが大切

- 刺激物を避ける（コーヒー、エナジードリンク、アルコール、砂糖、薬、熱すぎるお風呂）
- 感情が乱れすぎる深いワーク（セラピー）は頻繁には行わない。

②二つの自己が仲良くなることが大切

- 二つのキャラクターで対話
- 二つのキャラクターが一緒にいる努力をする
- 勝りたいインナーチャイルドへのワーク/中庸の良さを発見するなど
- 無理をしない
- 動けない自分、鬱的な自分を批判しない



<最後に>

- 病気はギフトー癒されるべき過去に注目すること。
- 即効性はないが、ホメオパシーは安全な自然療法。
- 今後のオススメ コロナワクチンの解毒のΦMeneki-Great始め、Φ腎臓、Φ肝臓、Φ過去世、Φグルタチ、解毒のレメディー、神社仏閣のレメディーetc…

ご視聴頂きありがとうございました！

森本道子